

<地域交流・国際交流部門>

馬とのふれあい体験の実施

代表者 平田瑞貴（中等教育教員養成課程理科専攻・2年）他学生7名

1. 活動概要

本企画は、馬術部員が将来社会で活躍できるスキルを身につけること並びに馬事文化の普及を目的として地域貢献活動となる、「馬と子どものふれあいイベント」である。実施したイベントの内容は、乗馬体験、飼料作り、エサやり体験、プラバン作りである。

乗馬体験での馬の負担を考慮し、参加対象者は5歳から12歳までとした。また、馬と触れ合う際の安全管理のため、馬術部監督や教職経験のあるOBの皆様にご立会いいただき、イベントを実施した。

各種体験の説明においては、画用紙を使用し、クイズ形式にしたりするなど、子どもたちに分かりやすいように工夫をした。



写真①：にんじんのあげ方を説明している様子

乗馬体験では特に安全対策に気を配り、鞍に持ち手を付け、ヘルメット、グローブ、エアバックの着用をし、1頭につき2人で馬を曳き、馬場に砂を足しクッション性を向上させるなどの対策を行った。

プラバン作りでは、参加記念品として、馬の下書きに子どもたちが色を塗り模様を描いた。



写真②：完成したプラバン

新型コロナウイルス感染症対策においては、検温やマスクの着用、アルコール消毒、屋外での実施、募集定員を少なく設定し、午前と午後の部に分けることで、「三密」を防ぐ行いをとった。

2. 実施状況

【令和2年9月】

○安全性の向上のため、乗馬体験を行う馬場の柵の補強を実施した。

【令和2年10月】

○乗馬体験を行う馬場のクッション性向上のため、馬場に砂を追加した。

○第1回ふれあい&乗馬体験の参加申し込みを使用する応募フォームをGoogleフォームにて作成、及び参加募集のチラシ、保護者アンケート、写真掲載の同意書を作成した。



写真③：作成したチラシ

- 第1回ふれあい&乗馬体験の参加者を募集するため、富士松北小学校にチラシの配布、馬術部が運営するTwitter、Instagramでの告知を行った。
- チラシの配布は刈谷市役所学校教育課に連絡を取り、学校教育課を通して小学校に配布の許可を取った。
- 第1回ふれあい&乗馬体験で使用するプラバン、張り紙、名簿を作成した。

【令和2年11月8日】

第1回ふれあい&乗馬体験

午前の部 参加者6名 来場者10名
 午後の部 参加者6名 来場者8名



写真④：乗馬体験の様子

【令和2年11月15日】

中間発表に使用するパワーポイントを作成し、発表を行った。

【令和2年11月】

- 第2回ふれあい&乗馬体験の参加申し込みを使用する応募フォームをGoogleフォームにて作成、及び参加者募集のチラシを作成した。

- 第2回ふれあい&乗馬体験の参加者を募集するため、はじめは富士松東小学校のみにチラシの配布を行ったが、応募がなかったため、富士松北小学校にも配布を行った。
- 第2回ふれあい&乗馬体験で使用するプラバン、名簿を作成した。

【令和2年12月12日】

第2回ふれあい&乗馬体験

午前の部 参加者5名 来場者7名
 午後の部 参加者5名 来場者11名



写真⑤：馬と子どもの触れ合いの様子

【令和3年2月】

最終報告書を作成した。

3. 成果

本企画・イベント行う中で、どのように注目を集めればよいのか、どのような言葉を選ぶと理解しやすいのかなど、新たな発見があり、学生も成長することが出来た。

準備の段階から、小学校にチラシを配るために、市の教育委員会に連絡を取るなど、役立つ経験が多くあった。

イベント当日では、馬場の砂で遊ぶ子どもや馬の飼料に触ることが好きな子どもなど子どもが興味を持つものが考えていたよりも違っていて、数時間の触れ合いでも子どもの個性の豊かさを感じ、一緒に遊ぶと大変楽しそうにしてくれることが分かった。

他にも、エサやり体験ではにんじんのあげ方を説明しながら動きを一緒に行うことで、集中していなかった子どもも

より集中することが出来ることが分かった。

このように、部員は子どもとの関わり方を学び、とても実のある体験となった。

立ち会ってくださった監督やOBは、元校長先生の方や現職の教員の方達であり、声のかけ方なども学べ、すぐに活かしたいと感じるものばかりで、大変勉強になった。

1年生の部員からも、「子どもの楽しんでいる姿を目にしてやりがいを感じた」、「たくさんの子どもと触れ合えて楽しかった」、「どんな話題を取り上げると子どもとの会話が弾むかが分かった」などの感想が得られた。

イベント終了後に保護者に行ったアンケート調査では、9割以上の参加者がまた参加したいと回答をいただき、イベントは大盛況であったといえる。

| | とても満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 |
|---------|-------|------|-----|------|----|
| イベントの内容 | 100% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 交通アクセス | 88% | 0% | 12% | 0% | 0% |
| 開催時期・日時 | 94% | 6% | 0% | 0% | 0% |
| 馬術部員の対応 | 100% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 会場の設備 | 88% | 12% | 0% | 0% | 0% |
| 申し込み方法 | 88% | 6% | 6% | 0% | 0% |

表①：満足度のアンケート結果

| Q：また参加したいか？ | |
|-------------|-----|
| 参加したい | 94% |
| どちらともいえない | 6% |
| 参加しない | 0% |

表②：アンケートの結果

4. 今後の展望

本企画イベントでは、子どもたちの楽しそうな表情や馬について興味を持っている様子が多く見られ、企画を実施して良かったと感じた。

AUEチャレンジプログラムの期間内では2回の「ふれあい&乗馬体験」を

行ったが、今後も第3回、第4回と継続して行っていきたい。

乗馬体験以外の体験内容も大変好評だったため、プラバン作りを蹄鉄の飾り付けなど他の内容に変更するなど、子どもたちが「もう一度参加したい」という気持ちになるように工夫をこらしていく。

なお、2回にわたった、ふれあい&乗馬体験では愛知教育大学に近い小学校にのみチラシを配ったが、その他の小学校にも配布をし、沢山の子どもに参加していただきたい。

また、教職を目指す学生が多いこの大学で子どもと触れ合う機会を増やし、現場ですぐに活かせるような学びをより多く経験できるようにしていく。

最後にふれあい&乗馬体験で参加対象者ではない兄弟姉妹が一緒に来た場合、どのように対応するかを予め決めておくなど、新たに対策を立て、より子どもたちが楽しむことができ、子どもとともに学生も成長できる体験にしていきたい。

5. 決算

予算：400,000円, 残額：121,349円

| 費目 | 支出額 |
|-----------------|----------|
| ○ 備品 ・(支出なし) | 0円 |
| 小計 | 0円 |
| ○ 消耗品 | |
| ポスカ | 4,340円 |
| 計量カップ | 3,454円 |
| 画用紙 | 177円 |
| ホース | 2,200円 |
| 馬用虫よけ | 7,810円 |
| 封筒 | 215円 |
| コピー用紙 | 316円 |
| プリンター一式 | 20,197円 |
| 切手 | 7,476円 |
| アルコール消毒 | 1,500円 |
| 軍手 | 500円 |
| プラバン | 1,000円 |
| キーボードチェーン | 500円 |
| 扇風機 | 11,880円 |
| 草刈り機 | 58,000円 |
| ジグソー | 24,000円 |
| ハエ取りシート | 2,057円 |
| エアバクラー式 | 59,400円 |
| 木材、丸杭 | 4,089円 |
| 馬用プロテクター | 21,690円 |
| フォーク | 6,050円 |
| サドルホルダー、追い鞭 | 14,960円 |
| 小計 | 251,811円 |
| ○ 旅費 ・(支出なし) | 0円 |
| 小計 | 0円 |
| ○ 謝金 ・(支出なし) | 0円 |
| 小計 | 0円 |
| ○ その他 | |
| レンタカー代 | 26,840円 |
| 小計 | 26,840円 |
| 合計 | 278,651円 |

6. メンバー

| 番号 | 学年 | 氏名 | 所属 |
|----|----|-------|-------|
| 1 | 2 | 平田瑞貴 | 中等・理科 |
| 2 | 4 | 伊藤里奈 | 初等・情報 |
| 3 | 4 | 鈴木美琴 | 初等・理科 |
| 4 | 1 | 浅沼あおば | 中等・社会 |
| 5 | 1 | 畝部響子 | 初等・理科 |
| 6 | 1 | 鈴木拓海 | 中等・社会 |
| 7 | 1 | 瀧澤陽希 | 中等・社会 |
| 8 | 1 | 春野陽南子 | 初等・音楽 |